

つながる  よこはま

にほんごコミュニケーション

よこはま日本語学習支援センター ～横浜×日本語×多文化共生～



No.01
2020.9月号



にほんご べんきょう かた
日本語を勉強したい方は、
ほんたい 反対のページから
よ お読みください♪



よこはま日本語学習支援センター、始動！

- 01 横浜で暮らす外国人トークリレー 第1回：方舜姫さん
- 02 連載記事～コロナ禍における活動の変化～ 第1回：YOKEでの取り組み
- 03 事業紹介 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業
- 05 日本語を勉強したい方向けページ（やさしい日本語版）



編集・発行 よこはま日本語学習支援センター（運営：公益財団法人横浜市国際交流協会）

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5F YOKE内

電話 045-222-1173 FAX 045-222-1187 MAIL c-nihongo@yoke.or.jp

発行年月日 2020年9月5日

※よこはま日本語学習支援センター運営事業は、横浜市の委託を受けて実施しています

第1弾！

横浜で暮らす外国人 トークリレー

横浜市内には現在、

10万2,654人の外国人の皆さんが暮らしています。(2020年8月31日現在)

こうした外国人の皆さんに、生活の中での日本語との関わりについて話していただくコーナーです。

日本語を学びたい人にも、日本語の学習支援をしたい人にも、

役立つヒントが隠されているかもしれません。



ほうしゅん ひ
方舜姫さん
中華人民共和国
日本在住歴 20年
職業 地域日本語教育
コーディネーター

記念すべき第1回目は、横浜市国際交流協会(YOKE)に勤務している方舜姫さんにお話を聞きました。YOKEで勤務を開始したのは今年4月。新しい職場に慣れる間もなく在宅ワークに切り替わり、とても大変だったようですが、オンライン日本語教室を開催する等、事業にも取り組んでいます！(聞き手:Y)

日本に来た理由を教えてください

中国で結婚し10年ほど働いていた頃、主人の大学院留学が決まり一緒に来たのがきっかけです。日本に来た当初から何の違和感もなくすぐ馴染み、自分の故郷に帰って来たような感覚になったことを今でもよく覚えています。

どのように日本語の勉強をしましたか？

日本に来てすぐは、日本語学校に通って一生懸命勉強しました。でも、日本語への手ごたえを感じていたある日、コンビニで「FAXありますか？」という簡単な日本語さえ通じず、もの凄く大きなショックを受けました。その時、学習日本語(座学で勉強する日本語)と日常生活(生活で使う

日本語)の違いに気づき、日常会話の大切さに気付きました。

そこで私は、日本人しかいないような場所へ働くことを決めました。中国語を使わない場所に身を置いたことで、日常会話はみるみる上達していききました。その職場のスタッフも親切な方たちばかりだったので、本当に助かりました。

外国人に日本語を教える立場になったきっかけは？

10年くらい前、まだまだ日本語の勉強が足りない！と思い訪れた鶴見国際交流ラウンジ。でももう日本語の能力は十分だったようで、いろんな経緯の後、ラウンジで日本語を教える立場になりました。文字も分からない人に一から教えることはとても大変でしたが、「外国語は理解する前に覚えよう！」という考えをモットーに、今春からYOKEにて、地域日本語教育コーディネーターとして働いています。

コロナ禍で感じたことについて

私自身はコロナ禍でそんなに困ったことはありませんでした。でも、知り合いの中には収入が減って困っている外国人もいたりします。

日本の外国人に対する制度は整っている方かなと思うので、あとは外国人個人の判断力・行動力にかかっていると思います。ひとつ言えることは、どんな困りごとでも日本語が分かることで、役所や人に聞いて解決することも可能になります。

ですので、これからも外国人に日本語を教え続けて、こういう教室やってるよという情報を広く知って貰うことが大切かなと思います。

コロナ禍における活動の変化

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、地域の日本語教室や学習支援教室はこれまでと同様の対面での教室開催が難しくなりました。まだまだ続くコロナ禍での新しい試みをご紹介します。

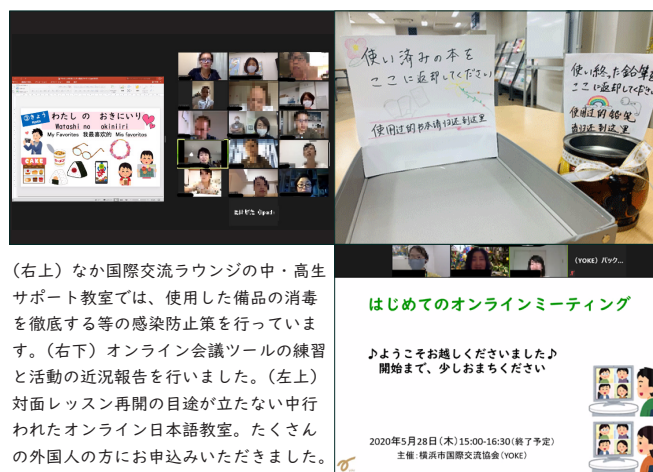


7月15日に「横浜市国際交流ラウンジ協議会学習支援分科会」をオンラインで開催し、ラウンジが主催する学習支援教室でのコロナ禍における活動の状況や工夫、課題等を共有しました。

日本政府による緊急事態宣言発令前の3月から、小中学校の休校や公共施設の休館、利用制限等が行われるようになり、会場となる施設が使えなくなった多くの教室で、学習支援の継続が難しい状況となりました。しかし、施設休館中にオンラインによる支援を再開した教室もありました。

学習支援教室の工夫

横浜市国際交流ラウンジ協議会
学習支援分科会の報告から



(右上) なか国際交流ラウンジの中・高生サポート教室では、使用した備品の消毒を徹底する等の感染防止策を行っています。(右下) オンライン会議ツールの練習と活動の近況報告を行いました。(左上) 対面レッスン再開の目途が立たない中行われたオンライン日本語教室。たくさんの外国人の方にお申込みいただきました。

はじめてのオンラインミーティング

ようこそお越しくださいました
開始まで、少しおまちください

2020年5月28日(木) 15:00-16:30(終了予定)
主催：横浜市国際交流協会(YOKE)

事前に何回もオンラインで行うための勉強会を行い、連絡体制を整えたそうです。

一方で、対面での活動再開においては十分な感染対策が求められます。事前準備として、消毒、マスクなどの準備や、人数制限に対応するため参加者への連絡、事前確認などが必要です。開催当日は、参加者の体温や体調のチェックとリストの作成の他、ソーシャルディスタンスを保つ座り方(壁に向かって離れて座る等)、貸出教材の取り扱い(一日置いてから片づける等)などの工夫がされています。

オンラインでつながる試み

「はじめてのオンラインミーティング」開催

YOKEでは、コロナ禍でもボランティア同士が顔を合わせて話ができる場づくりとして「はじめてのオンラインミーティング」と題したオンラインによる講座を開催しました。

この講座では、①オンライン会議システム(Zoom)の簡単な操作方法の紹介 ②各教室の近況報告 ③オンライン教室実践例の紹介を行いました。好評により全4回実施し、延べ100名以上のボランティアが参加しました。

参加者からは「他の教室のボランティアとおしゃべりできたことは、それだけで大変有意義で元気づけられた」、「オンラインレッスンに挑戦してみたいと思った」などの声が上がりました。皆さんの声を受け、現在ではミーティングの主催方法をお伝えする「開いてみようオンラインミーティング」の開催も行っています。

オンライン日本語教室の開催

「はじめての横浜日本語で話そう」オンライン版

7月22日から週一回(全5回/各70分)で日本語教室オンライン版を開催しました。アメリカ、中国、フィリピン、台湾、ネパール、ペルーなど様々な国の学習者がオンラインで集まり、その日のトピックについて日本語の会話練習をしました。

簡単な挨拶から学びたい入門者や、困ったときに何と伝えたいか知りたいという方までいましたが、レベル差のある学習者を上手く組み合わせる小グループを作成し(グループ分け機能を使用)、講師から丁寧な指導を行うことができました。

それぞれのグループでは、理解に苦労している学習者を母語で助け合う場面もあり、オンライン上でもチームワークを築けていたようです。学んだ日本語を使って発表する場面もあり、学習者自身が成果を感じられる講座となっています。

この連載では、コロナ禍での活動の試み、工夫等、役立つ情報を今後も皆さんと共有していきます。また、YOKEでは、「まちなほんご伴走隊」事業などを通して、希望する教室に対し個別のサポートをしています。ぜひご相談ください。



相談費用は無料です。詳しくはWEBページをご覧ください。



「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」が始まりました！

キーワードは「横浜×日本語×多文化共生」

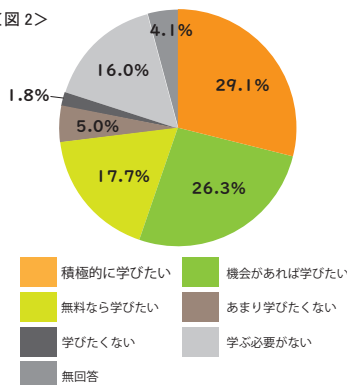
2020年9月
公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）

生活での困りごとの第1位が「日本語の不自由さ」

横浜市の外国人人口は、約160か国地域からの約10万2千人で、約37人に1人の割合となっています（2020年8月末現在）。このように国際色豊かな横浜で、今後、外国人の一層の増加が見込まれる中、生活の場で円滑にコミュニケーションのできる環境を整えていく必要性が高まると考えられます。実際、令和元年度横浜市外国人意識調査では、「日本語の不自由さ」が生活での困りごとの第1位になり、また、日本語の学習意欲を有する人は約9割という結果になりました（図1・図2）。

今後、日本語を学びたいと思うか

<図2>



横浜での生活で困っていることや心配なこと

<図1>

順位	項目	割合
1	日本語の不自由さ	29.8%
2	病気になった時の対応・病院で外国語が通じない	19.3%
3	自分または家族の健康	14.7%
4	災害時・緊急時の対応	14.6%
5	子どもの教育	14.5%

「困っていることや心配なこと（複数回答可）」に関して、日本語の不自由さと答えた人は最も多く29.8%でした。そのうち、日本語の学習意欲を有する人（積極的に学びたい＋機会があれば学びたい＋無料なら学びたい）は91.1%でした。

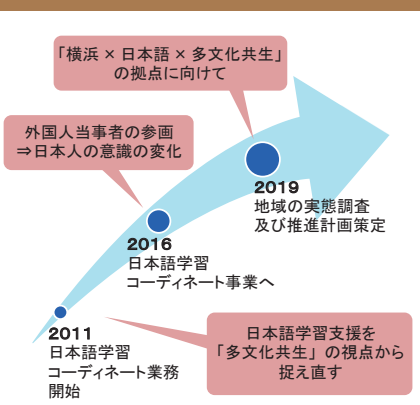
出典：横浜市外国人意識調査（横浜市国際局）

これまでのYOKEの日本語学習支援事業

今後更に、日本語の習得を通じた外国人の生活基盤の充実が望まれます。

横浜には、主にボランティアによる地域日本語教室が約130あります。YOKEでは2011年度から、横浜市内の日本語学習支援システムづくりを視野に入れ、地域の教室や行政と連携しながら、日本語教室の開催、教室データベースの運営、支援者向け研修会や事例発表会運営、就学前親子支援講座など日本語学習支援事業に取り組んできました。その中で、言葉を学ぶだけでなく、日本語学習をきっかけに日本人を含めた多様な人々がお互いに知り合い、相互理解や地域との関わりがなされること、また、外国人当事者の参画を大事にしてきました。日本語学習を多文化共生のまちづくりにつなげる試みです。

日本語学習支援を通じた「外国人の生活基盤の充実」と「多文化共生のまちづくり」を推進



そして、「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」へ

2019年度には、文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」（以下、「体制づくり推進事業」）の採択を受け、

よこはま日本語学習支援センターの役割

<図3>

地域日本語教育の体制づくり 事業を進める基盤となる拠点

1. 「体制づくり推進事業」の各取組を行います。
2. 地域日本語教室、国際交流ラウンジ、学校、公的機関、教育機関、企業など、外国人住民が生活を送る中でつながる機会のある関係機関・組織との連携を促進します。

日本語習得支援

外国人住民の日本語習得支援のための拠点

1. 多言語相談・情報提供窓口である横浜市多文化共生総合相談センター（YOKE 内に設置）と連携し、相談に応じたり情報提供を行います。
2. 日本語教室等への支援や日本語教室モデル事業の実施を行います。

よこはま日本語学習支援センターを8月に開設

横浜市内における総合的な推進体制を進めるための基盤組織として、2020年8月、YOKE内に「よこはま日本語学習支援センター」を開設しました（図3）。

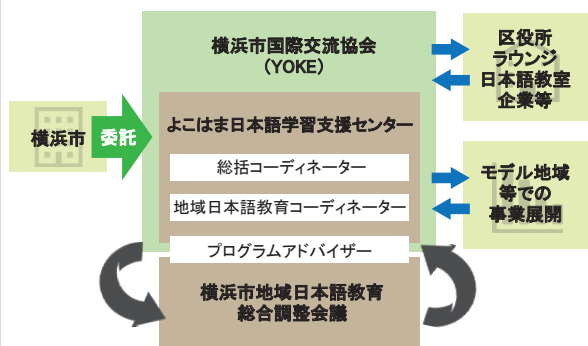
横浜市の委託により「横浜市内における地域日本語教育の総合的な推進に係るアクションプラン」の策定及び「実態調査」を進めました。2年目となる2020年度は、その結果を基にして、次の取り組みを進めていきます。

「横浜×日本語×多文化共生」を目指すプログラムの実施

まず、地域日本語教育の体制づくり・日本語習得支援のための拠点設置、推進の仕組み作りを通して、地域日本語教育推進の基盤を整備します。(図4)そして、横浜市内で外国人住民が生活を送る中でつながらせる機会のある関係機関・団体との連携を図りつつ、地域日本語教室への支援や、モデル地域での関係団体のネットワークキングなどを行います。外国人住民から多文化共生総合相談センターに寄せられる日本語学習に関わる相談についても、相談センターと連携協力し対応していきます(図5)。

「体制づくり推進事業」の推進体制

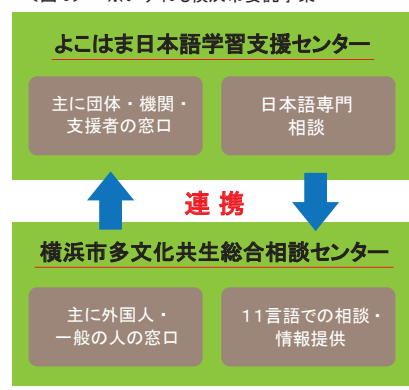
<図4>



さらに、外国人も含めた日本語学習支援者の育成、企業と連携した日本語教室開催など、新たなニーズに対応するプログラム展開を行います。コロナ禍の現状を踏まえ、「ICTの活用促進」「新型コロナ禍における活動継続のための連携・支援」の視点か

多文化共生を進める YOKE の組織

<図5> ※いずれも横浜市委託事業



地域日本語教育コーディネーターの配置

現在、地域日本語教育のすそ野を広げる様々な事業を展開しはじめたところです。(P2) 今後は、企業等と連携した日本語教室や、日本語ボランティアのための講座の実施などの取組みも予定しています。

「体制づくり推進事業」のスタッフは、下欄の通りです。

地域日本語教育コーディネーターは、主にモデル地域を対象に行政機関や日本語教室等と連携し、地域や外国人の特性等に対応したプログラムの企画・実施を行います。総括コーディネーターは、地域の団体・関係者と連携・情報交換しつつ事業を推進します。また、総合調整会議の委員から1名、プログラムアドバイザーに就任いただきます。本事業への助言や情報提供をいただきます。

「横浜×日本語×多文化共生」をキーワードに、地域の皆さまと共に様々なプログラムを地域で展開していきますので、どうぞよろしく願います。

スタッフ紹介



たけがた 志江

プログラムアドバイザー

ことばが地域で果たす役割とは？みなさまと共に考えていきたいと思っています。



(左) ほうしんり (右) かみなが 房恵

地域日本語教育コーディネーター

心をつないで笑顔があふれる多文化コミュニケーション作りを目指します。



かど 美由紀

総括コーディネーター

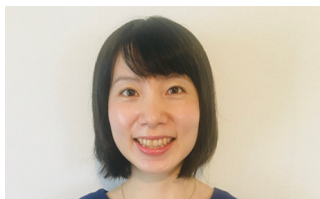
日本語を通じたつながりづくり、一人一人が活躍できる地域づくりに取り組みます。



のまた 森子

事業担当

コミュニケーションを大切に考えています。



たかやま 麻紀

事業担当

1人1人に寄り添うサポートを目指します。



こあつ 祐子

事務担当

丁寧な仕事を心がけていきます！



からきさわ みどり

事業担当

いろいろな情報を共有していきます！



やまだ 敦子

事業担当・事務局

横浜に来てよかった！と言ってくれる人を1人でも多く。



ふじい 美香

事務局

チームワークを大切にしていきたいです。



さかもと 淳

総括責任者

コロナ禍でできることに果敢に取り組んでいきます！



やしま 由佳

事業担当

皆さまに活用して頂けるようなコンテンツを作ります！

にほんご べんきょう 日本語を勉強する…「どこで?」「どうやって?」

にほんご べんきょう やくだ じょうほう
～日本語の勉強、お役立ち情報～ Vol.1

オンラインで日本語が勉強できるサイト

インターネットの環境があれば、家でも日本語の勉強ができます。
すべて無料の日本語学習サイトです。

NHK WORLD-JAPAN Easy Japanese: やさしい日本語
<https://www.nhk.or.jp/lesson/> または [nhk.jp/world](https://www.nhk.jp/world)

初級から楽しく学べる!
18か国語あります



ビデオや音声で日本語初級の会話、文法や表現の基礎、日本文化について勉強できます。音声やテキストのダウンロードもできます。

まるごと+ MARUGOTO Plus
<https://marugotoweb.jp>

とても見やすいサイトです!
英語、スペイン語あります



日本語教材『まるごと 日本のことばと文化』の内容に沿って、たくさんのビデオを見ながら日本語や日本文化が勉強できます。
出典 国際交流基金関西国際センター

「エリンが挑戦! にほんごできます。」コンテンツライブラリー
<https://www.erin.jp/erin.go.jp>

楽しい動画がたくさん!
英語対応



留学生のエリンと一緒に楽しく日本語の勉強ができます。スキットの動画だけでなく、日本文化を知るための動画や写真、クイズなどもあります。

げんきな自習室
http://genki.japantimes.co.jp/self_en

教材と一緒に学習しよう!
英語対応



「げんき」は初級日本語の本です。「げんきな自習室」はその本と一緒に勉強ができるサイトです。「話す・聞く・読む・書く」いろいろな勉強ができます。
出典 株式会社ジャパントイムズ出版

よこはまし 横浜市にある、日本語が勉強できる教室

たくさんある教室の中から、オンラインでも日本語が勉強できる教室を紹介します。

磯子区

日本語を楽しむ会

<https://isogojp.wixsite.com/nihongo>



磯子区役所7F
JR磯子駅 徒歩3分
090-5545-9120

外国にルーツを持つ方に日本語を教えています。対面でのレッスンを中心に、現在少人数で活動しています。オンラインでの学習を希望の方は相談してください。

予約方法: ホームページ下のフォームから問い合わせてください。
※対面レッスンは毎週水曜日
13:30-15:00 会話 15:00-16:00 読書き

鶴見区

1.2.3. 日本語支援の会

<https://123nihongo.jimdoofree.com>



鶴見国際交流ラウンジ
JR鶴見駅 徒歩1分
045-511-5311

鶴見区に住んでいる人、働いている外国人にレッスンをしています。オンラインレッスンも行っています。何を勉強するか、いつ勉強するかは、日本語ボランティアと相談して決めます。

予約方法: ホームページの「質問票」から申し込みます。初めての方は鶴見国際交流ラウンジ (<http://tsurumilounge.com>) で面談を行います。曜日・時間は相談してください。

戸塚区

フリースクール おっち-塾

<https://occhijuku.weebly.com/>



戸塚区民活動センター
JR東戸塚駅 徒歩1分
occhi_juku@yahoo.co.jp

外国につながる児童生徒に日本語を教えています。オンライン(Zoom)で勉強します。「早く日本語を覚えて授業がわかるといいな」「友達ができるといいな」そんな子どもたちと一緒に楽しく勉強します。

予約方法: ホームページの「お問い合わせフォーム」から申し込んだ後は、LINEでレッスンの予約ができます。
火曜日・木曜日: 16:00-17:30
土曜日: 13:00-14:30

よこはま日本語学習支援センター

01 YOKEに「よこはま日本語学習支援センター」ができました！

よこはま日本語学習支援センターでは、外国人の方が、日本語を勉強して、横浜でもっと豊かな生活ができるようサポートします。コロナで、日本語教室に行けない人のために、オンライン日本語教室で勉強ができるようにします。皆さんと一緒に、もっと住みやすい横浜にしていきたいです。楽しみにしててください。

02 こんな時、私たちが力になります！

- ・家の近くにある日本語教室が知りたい
- ・日本語が勉強できる交流イベントを探している
- ・親子で一緒に日本語を勉強したい
- ・自分で勉強できる日本語学習サイト、オンライン日本語教室が知りたい

よこはま市多文化共生総合相談センターへ（このページの下にあります）



ポータルサイトができました！

<https://yokohama-nihongo.com>

日本語の勉強に役立つ情報を、ホームページでお知らせします。

03 私たちの仲間になってくれる外国人を募集します！

- ・日本語を教えるボランティアをしてみたい
- ・外国人向けの日本語講座や日本語教室と一緒に作ってみたい
- ・この冊子にこんな情報を載せてほしい

c-nihongo@yoke.or.jp
に連絡してください。
お待ちしております！



これまでの取り組みを紹介します



YOKE 日本語教室



外国人と日本人が一緒に作る日本語教室



おやこにほんごタイム（お弁当）

生活お役立ちコラム

Q.

引っ越しをしたらず紙が届かない…どうして？

A.
理由はいくつか考えられます！

1. 郵便局に「転居届」を出しましたか？ ※区役所に出す「転居届」とは別です！



引っ越し日が決まったら、近くの郵便局で申し込みましょう！
郵便局に置いてある「転居届」に新しい住所などを書いて窓口に出します。
インターネットでも申し込むことができます。

e 転居：<https://welcometown.post.japanpost.jp/etn>（日本語のみ）

2. 家に表札を出していますか？



ポストや玄関に名前がないと本当に住んでいるかわからず、手紙が届かないことがあります。郵便局に転居届を出したのに届かない…という時は、分かりやすい場所に名前を出しておくといいでしょう。



こまったときは
横浜市多文化共生
総合相談センター



045-222-1209
t-info@yoke.or.jp



月曜日～金曜日
10:00～17:00（受付は16:30まで）
第2・第4土曜日
10:00～13:00（受付は12:30まで）

横浜で暮らしている外国人から、11の言葉で相談を受けます。
相談は0円です。区役所などと電話をつないで、相談もできます。

つながる  よこはま にほんごばん <やさしい日本語版>



No.01
2020.9月号



にほんごコミュニケーション

Yokohama NIHONGO Support Center

にほんご べんきよう
日本語を勉強したい
かた 方は、こちらから
よ お読みください ♪

こんにちは

안녕

Hej

你好

Hi

HOLA

HALLO

ПРИВЕТ

SALUT



にほんご がくしゅう
はじめまして。日本語学習のおてつだいをします。

いえ べんきよう がくしゅう わ
家で勉強できる、オンライン学習サイトが分かります。



はっこう にほんご がくしゅう し えん
発行：よこはま日本語学習支援センター（運営： 公益財団法人横浜市国際交流協会）
よこはま し に しく 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 よこはま よこはまこくさいきょうりょく 横浜国際協力センター 5F YOKE 内
でんわ 電話 045-222-1173 FAX 045-222-1187 MAIL c-nihongo@yoke.or.jp